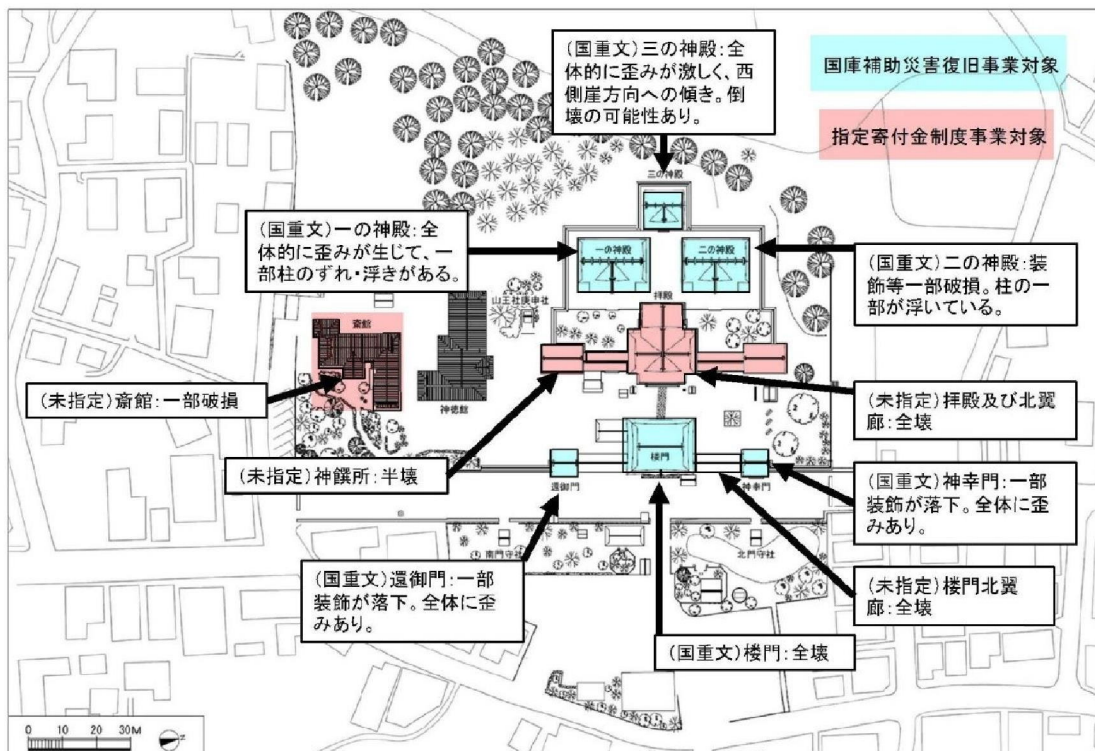


## 阿蘇神社災害復旧事業の経過についてお知らせ

現在、災害復旧工事を以下のとおり2事業として実施しています。

- 1, 国指定重要文化財6棟を対象とした復旧事業【国庫補助事業】
- 2, 拝殿等・齋館などの国重要文化財6棟以外の社殿を対象とした復旧事業【自費事業（指定寄付金制度利用事業）】



阿蘇神社災害復旧事業対象区分

## 1. 重要文化財6棟を対象とした災害復旧事業【国庫補助事業】

(1) 補助事業の名称

(重要文化財) 阿蘇神社一の神殿ほか5棟保存修理事業(災害復旧)

(2) 事業の内容

平成28年4月16日に発生した熊本地震(本震)により被災した国重要文化財6棟について、解体修理、部分修理等の災害復旧工事(国庫補助事業)を実施しています。主な内容として、倒壊した楼門の解体格納と部材の調査、その他5棟の部分解体修理を並行して進めています。

(3) 業務委託先(第1期工事契約)

設計監理 (公益財団法人) 文化財建造物保存技術協会

請負工事 清水建設(株式会社)

(4) 総工期予定 平成28年8月から平成35年3月まで(7年度)

(5) 総事業費(試算) 930,000,000円

うち第1期工事費(平成28年7月15日交付決定)として

315,370,000円

(内訳) 国庫補助金 268,064,000円(85%)

熊本県補助金 38,421,000円(12.5%)

阿蘇市補助金 2,000,000円

阿蘇神社負担 6,885,000円

(6) 重要文化財建造物6棟の工事内容

### 【部分解体修理】

① 一の神殿 天保11年(1840) 五間社入母屋造

② 二の神殿 天保13年(1842) 五間社入母屋造

③ 神幸門 嘉永2年(1849) 四脚門

④ 還御門 嘉永2年(1849) 四脚門

### 【応急対策工事、部分解体修理】

⑤ 三の神殿 天保14年(1843) 三間社流造

### 【解体格納工事】

⑥ 楼門 嘉永3年(1850) 三間一戸二重門

(7) 進捗率 20%(平成29年3月31日現在)

以上

## **2. 拝殿等・齋館などの国重要文化財6棟以外の社殿を対象とした復旧事業 【自費事業（指定寄付金制度利用事業）】**

### (1) 事業の内容

国重要文化財6棟以外の社殿復旧工事を下記のとおり自費事業として実施しています。この事業は「熊本地震復旧寄附金制度」（以下、指定寄附金と表記）の対象事業として、平成29年1月31日付けで熊本県知事から確認を得ました。事業への寄附行為は、税制上の優遇措置が受けられます。詳しくは、阿蘇神社ホームページをご覧ください。→ <http://asojinia.or.jp/>

【工事1】 倒壊した拝殿（附 南翼廊・北翼廊・神饌所・神輿庫）の復旧

①解体工事 ②再建工事

【工事2】 損壊した齋館の復旧

【工事3】 境内・飛地境内諸施設の復旧

①楼門に接続する回廊の復旧 ②鳥居の破損改修 ③石塔類の復旧

④御札所の移設と復旧 ⑤行宮所（御仮屋）の再建 ⑥その他雑工事

### (2) 事業費予算

#### ○支出の部

拝殿復旧【工事1】 636,120,000円

齋館復旧【工事2】 62,640,000円

諸施設の復旧【工事3】 101,240,000円

合計 800,000,000円

※それぞれの工事費には設計監理費などの諸経費が含まれています。

#### ○収入の部

指定寄付による募集 400,000,000円

奉賛金 200,000,000円

阿蘇神社負担 200,000,000円

合計 800,000,000円

総事業費8億円のうち、拝殿（工事1）と齋館（工事2）の復旧を対象にした指定寄付金4億円を募集しています。地震発生後からすでに寄せられている奉賛金（寄附金）2億円もこれに充当します。残りの2億円を阿蘇神社が自己負担します。

### (3) 工期

（工事1）及び（工事2）は、平成29年4月から平成33年3月まで（予定）

（工事3）は、付帯工事として適宜実施しています。

### (4) 指定寄付金の募集期間

平成29年2月1日から平成32年1月31日まで（3年間）

指定寄附金の募集実績は月ごとに報告しています。

### (5) 進捗について

- ・【工事1】 拝殿の再建と【工事2】 齋館の復旧工事に向けた調査に着手しました。
- ・拝殿の解体工事を先行して実施しました（平成28年11月）。使用可能な旧材は重要文化財の修復材に使用します。
- ・【工事3】 仮設拝殿の建設工事（平成28年7月）、御札所の移設復旧工事（同9月）を行いました。
- ・その他境内石塔類の復旧を行いました。

以上



阿蘇神社境内現況（平成29年4月現在）

【重文】一の神殿（部分解体修理予定）  
天保11年（1840）



【重文】三の神殿

天保14年（1843）  
（部分解体修理 平成28年12月～）



【重文】二の神殿（部分解体修理予定）  
天保13年（1842）



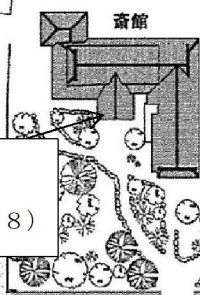
拝殿・翼廊（全壊）  
昭和23年（1948）  
解体工事（平成28年11月実施）



【重文】楼門（全壊）  
（解体格納工事中 11月～）  
嘉永3年（1850）



齋館（損壊大）  
昭和3年（1928）

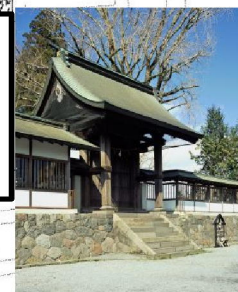


御札所（部分損壊修理済）  
昭和3年（1928）  
※楼門脇から移設



【重文】還御門  
（部分解体修理予定）  
嘉永2年（1849）

【重文】神幸門  
嘉永2年（1849）  
（部分解体修理予定）



進捗状況

- 1, 重要文化財建造物6棟は国庫補助による災害復旧工事（第1期、3億1537万円）が着工。  
総事業費（概算）9億3000万円（～平成34年度まで）
- 2, その他の建造物（拝殿・翼廊・神饌所・神輿庫・齋館・御仮屋など）は、平成29年4月から着手する予定。  
総事業費（概算）8億円  
事業への寄附は税制上の優遇措置を受けられる（平成29年2月から平成32年1月まで）。